

断面 9 B_B

乾性褐色森林土（緩斜地型） その 1

母材料：安山岩熔岩に火山灰混入

採取地：鶴岡事業区92林班ら小班

海拔高：640 m

地 形：山腹尾根状凸形斜面

方 位：N 20°W

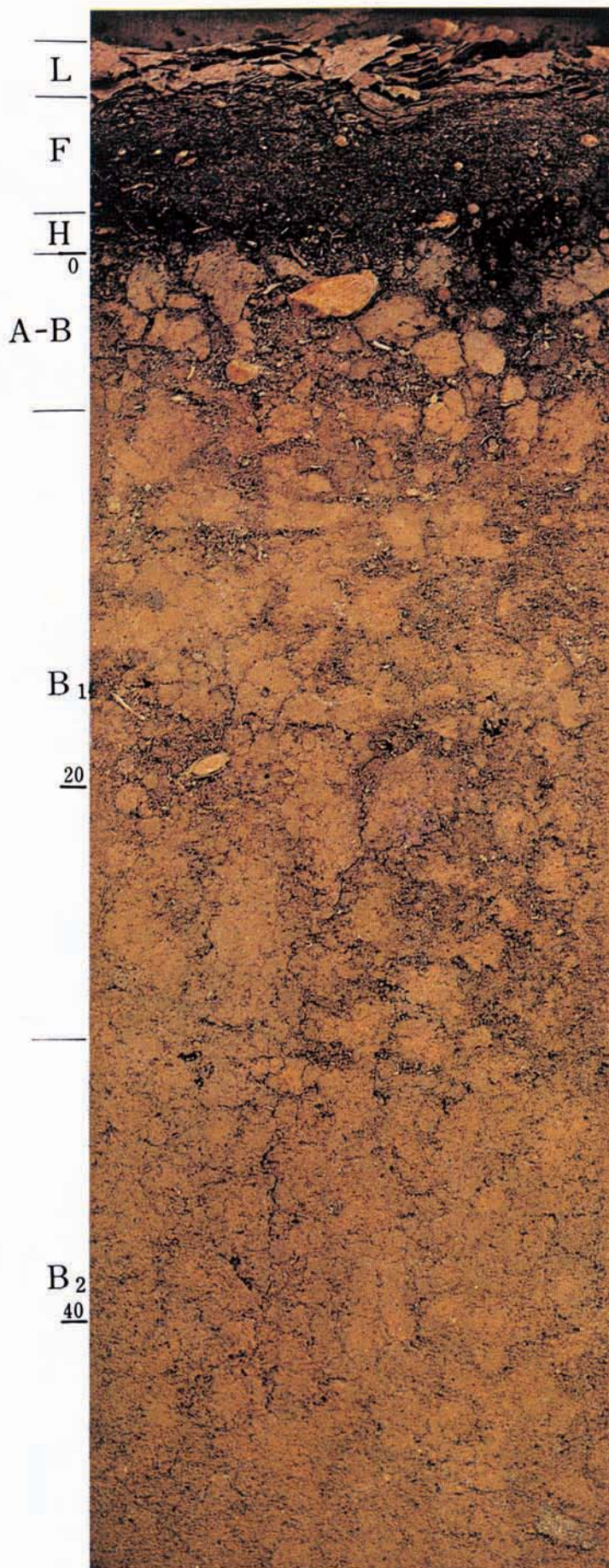
傾 斜：20°

林 相：ブナ天然林

断面記載：

- L 2~3 cm ブナ、その他の落葉、やや密に堆積。
- F 5 cm 落葉・落枝の細片、マット状に堆積。
- H 1~2 cm 黒色(10 YR 1.7/1), 脂肪状, 湿, 細根多。
- A-B 6 cm 暗褐色 (10 YR 3/4) と黒褐色 (10 YR 2/3) との斑状模様, 腐植含む, 部分的に富む, 礫なし, 埴質壤土, 塊状および粒状構造よく発達, やや堅, 一部しょう, 潤, 中・大根すこぶる多, B₁層との境界は判。
- B₁ 25 cm 褐色 (10 YR 4/6), 腐植に乏し, 礫なし, 埴質壤土, カベ状, 一部粒状および弱度の堅果状構造, 堅, やや乾, 小根あり, B₂ 層との境界は判。
- B₂ 20 cm 褐色 (10 YR 4/6), 腐植に乏し, 礫なし, 埴質壤土, カベ状, 堅, 潤, 根はまれ。

採取年月日：1965年7月27日

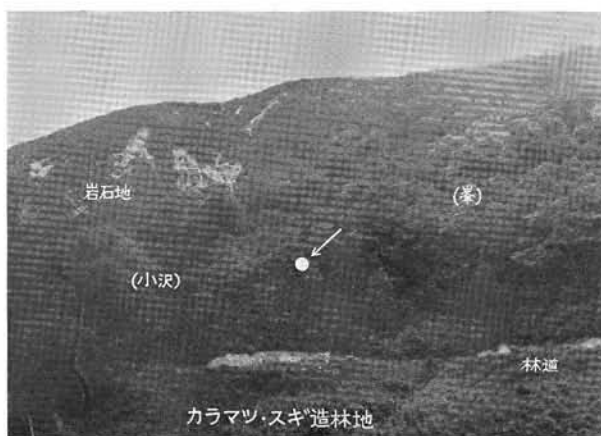


この土壌は鈍頭の尾根に分布する。マット状に、密に堆積したF層は厚い。その下に黒色のH層が形成されている。A層はなく、H層の下には暗褐色の塊状部分と黒褐色の粒状部分とがまだらに入り交じった A-B 層となり、褐色のB層につづく。B層の上部(B₁層)には粒状構造および弱度の堅果状構造が部分的に発達し、その部分は腐植により汚染されている。B₂層はカベ状、堅密。土層全体に、水分に乏しい。

H層は強酸性、A-B層も酸性が強い。置換酸度はきわめて大きく、石灰、苦土、カリなど置換性塩基は極端に少ない。

この土壌にはスギの造林は不可、酸性土壌に耐えるヒノキ(裏日本では問題がある)あるいは乾燥に強いマツ類の造林は可能であるが、よい成長は期待できない。むしろ天然更新を主とした方が安全である。

林相はブナを主とし、ミズナラがまじった天然林で、低木階にマンサク(1)、リュウブ(+), ブナ(+), ナナカマド(+), マンサク(1), クロモジ(+), タムシバ(+), ハナヒリノキ(+), イタヤカエデ(+), など、草本階にチシマザサ(2), チゴユリ(+), イワウチワ(+), などがある。



採取地の林相および地形

層 位	C %	N %	C/N	pH (1:2.5)	置換酸度 Y ₁	C E C m.e	置 換 性			Ca/CEC	Mg/CEC	K/CEC
							Ca	Mg	K			
H	28.5	1.37	21	3.74	59.6	85.29	1.12	2.88	1.23	1.88	4.83	2.06
A-B	8.8	0.36	24	4.14	115.4	47.94	0.35	0.45	0.41	0.73	0.94	0.86
B ₁	3.1	0.13	24	4.56	49.4	33.59	0.34	0.18	0.25	1.01	0.54	0.74
B ₂	1.3	0.07	19	4.64	38.3	27.46	0.44	0.13	0.24	1.60	0.47	0.87
C												

層 位	土壌中の細粒 (0.2~0.1 mm) の鉱物 100 分比							土 壌 中 の 粘 土 鉱 物			
	熔岩碎片	火 山 ガラス	火山砂	石 英	長 石	輝 石	磁鉄鉱	アロフェン	ギブサイト	加水ハロイサイト ・ハロイサイト	14~15Å 鉱 物
H	31.6	5.1	57.2	4.1	2.0			+	×	+	
A-B	26.8	2.8	67.6	1.4	0.7	0.7		++	+	+	
B ₁	25.1	9.5	51.5	4.4	8.1	1.4		++	+	+	
B ₂	51.4	3.2	37.5	5.5	0.8	0.8	0.8	+++	++	+	
C	22.1	9.7	58.5	1.4	8.3			+++	+++	+	×